

第4回草加市みんなでまちづくり会議議事録

1 開催日時

平成18年1月26日(木)午後7時から9時まで

2 開催場所

草加市役所 本庁舎 第1・2委員会室

3 出席者の氏名

(1) 登録員 12名(別紙)

(2) 進行 みんなでまちづくり課課長補佐

(3) 事務局 みんなでまちづくり課課長、
みんなでまちづくり課職員 5名

(4) 関係課 住宅・都市計画課課長、開発指導課課長補佐、みどり公園課課長、
建設管理課課長補佐、河川課課長、道路課課長

4 会議の議題

「ふれあい通り親水緑道計画」の提案に関する市の反映結果について

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者

6人

7 会議の概要

(1) 開会

進行

- ・ 会議録署名員の指定については、登録番号16の後藤一登録員と、登録番号17の浅古倉政登録員にお願いしたい。

(2) 議題「ふれあい通り親水緑道計画」の提案に関する市の反映結果について

事務局：みんなでまちづくり課長より

提案の概略

市の反映説明

資料1 参照

進行

- ・ 以上の市の反映結果について、質問・意見などいただきたい。

登録員

- ・ 市民からの提案に対し、予算の関係だけで判断するのか。
- ・ 市としては今後、親水緑道を整備する時、暗渠にして整備を進めていくと考えているのか。
- ・ 市として、これから緑道をどうしていくのかを考えないと、毎回毎回違う緑道

が出来てしまう。

- ・ 二重投資にならないのか。
- ・ 排水機能は図面では小さいみたいだが、たいした排水量ではないのではないか。

関係課（河川課）

- ・ この水路は、公共下水道の雨水計画上、1m×1500 となっている。
- ・ 1m×1500 の柵渠でボックス化し、縦型より横型にする事で流れも良くなる。

登録員

- ・ 下水道の上に歩道を作るやり方としては、一般的か。

関係課（河川課）

- ・ 基本的には一般的な作り方である。

登録員

- ・ 流れる水は、どこから入ってくるのか。

関係課（河川課）

- ・ 瀬崎小学校周りの水が入ってくる。
- ・ この地区は浸水被害が出ている地区であり、瀬崎東町線にボックスカルバートを入れている状態である。

登録員

- ・ これは水路の整備として、標準的なパターンなのか。

関係課（河川課）

- ・ 水路の整備としては、標準的なパターンである。

登録員

- ・ 暗渠の上に将来、親水路が出来るのか。
- ・ 予算の都合がいたら、緑地帯と歩道をつけるのか。
- ・ 距離も長いし、今の財政難の状況から考えて、はじめからいっぺんには無理だと思っていた。
- ・ 今回の整備が無駄にならないように、いったん蓋をしたものを掘り返して整備し直すのなら、今はこのような方がいいのでは。

関係課（河川課）

- ・ 今回の現場は現在、破損も狂いもない、作った状態のままの水路である。
- ・ これをボックス化するのは、逆に無駄になるのではと考える。

登録員

- ・ はじめは蓋をする程度か。
- ・ 蓋の上を歩道にして、両側を緑道にするのか。

関係課（河川課）

- ・ 今回の回答はそうになっている。

登録員

- ・ 段階的に進めることは、妥当ではないか。

登録員

- ・ この図面のとおり、整備するのではないのか？

事務局：みんなでまちづくり課長（資料1 をもとに説明）

- ・ 水色の部分が、隣接するマンション開発業者が開発に伴って整備する部分。下の絵の様なイメージで行う。市が行うものではない。
- ・ オレンジの部分が、市で整備する部分。現在の柵渠部分に蓋がけし、隣接する部分を緑地化する。
- ・ ピンクの部分がマンション開発の敷地。
- ・ 将来的に、親水については相当な費用がかかるので、今回は難しいと考えている。ご理解いただきたい。

登録員

- ・ 3つほど質問がある。
- ・ 1点目、水色部分。開発業者がこの図のようにやってくれるのか。これが、この図のように植栽を得て、後々瀬崎の案に切り替わる時、大きな手戻りになるのではないか。
- ・ 2点目、オレンジ部分の所に市はどれくらいお金をかけるつもりなのか。
- ・ 3点目、親水化は未来永劫やらないのか。いつごろから取り掛かれるのか。5年10年先、財政がよくなるまでやらないのか。どういった見通しか？

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 1点目の水色部分については、ボックスカルバートに1.5m位の盛土をし、緑道化していく事が決定している。大きな手戻りがないと考えている。
- ・ さらに今後、瀬崎まちづくり市民会議を含め整備内容について、出来るだけ協議をする中で進めていこうと、業者と話をつけている。
- ・ 2点目のオレンジ部分については、水路の管理状況が良好であることから蓋がけをし、東側の通路部分に緑道を整備していくと考えている。
- ・ 金額は、詳細に積算していないが、1千万円程度と考えている。
- ・ 3点目については、予算との兼ね合い、他の事業との優先順位等の兼ね合いを検討した上で、進めていきたいと考えている。

登録員

- ・ 近くに小学校もあるし、子供たちのためにも、是非、じゃぶじゃぶ池を実現させたい。
- ・ 公園も瀬崎の中にいろいろあるが、水を使ったものがないので、ぜひ親水公園としたい。
- ・ 部会の中で先進地をいろいろ見たり聞いたりしてきた。ぜひ実現したいと思って市に提案した。

- ・ 親水化は難しいと聞いていたが、今の説明だと、将来にわたって考えるという含みを持っているが、本当に検討してもらえるのか。
- ・ マンション開発者が負担してもらえる水色部分については、我々が提案しているものについて十分検討してもらっているが、この中に東屋や藤棚を作ってもらえるのか。
- ・ オレンジの部分について1千万円位でやると言っているが、これはマンションの建ち上がる平成19年にあわせて、完成してもらえるのか。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 親水化は、現在の予算では相当厳しい状況で、当面は難しい。
- ・ 水色の分は親水化が出来るような状況になっているので、将来的には検討していく。
- ・ オレンジの部分は、財政状況を踏まえ、総合的に判断し、検討していく。
- ・ 水色の部分については、親水と東屋・藤棚の整備以外の内容は、提案内容を受けた整備となっていると思う。
- ・ オレンジの部分については、柵渠を整備し、蓋掛けをし、通路の連続性を持たせた整備になっているが、マンションの明け渡しは平成19年6月と聞いているので、市の整備は19年度の予算としていきたいと考えている。

登録員

- ・ 親水緑道計画は大きく分けて3つの基本的な考え方で提案した。
- ・ 1つ目は、小学校等の通路の遊歩道化、2つ目が親水化、3つ目が地域の憩いの拠点・ふれあいの拠点とする。
- ・ 今日の反映結果では、遊歩道化だけで、残りの2点については、現実的には厳しいと、今理解したところである。
- ・ 提案していることの30%が反映され、3分の2は却下されたと理解した。
- ・ 1つだけでも大変なことと思うが、何とか残りの3分の2についても、もう一度知恵を出して、地域でより良い形で考えてみたいと思っている。
- ・ マンション開発業者の整備にしても、今後打ち合わせが出来るということなので、どういう整備がされ、どんな樹木が植えられるか、楽しみにしたい。
- ・ 最後は、今日の会議の考え方と合意についてで、今日の反映結果が良くないという時には、議会で意見を述べる事が出来るとなっている。
- ・ 提案の3分の1しか達成しておらず、あとの部分がどうなっているのか、これが妥当な線だと考えれば、行政と相談して進めていくが、瀬崎の提案が市とそぐわないとなれば、議会と話が出来るわけなので、皆さんの意見を聞く中で、後の展開を考えなければいけないと考えている。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 今回の提案の、3項目のうち遊歩道は確保できた。

- ・ 親水化は大きな費用がかかると回答した。
- ・ 地域の憩いの拠点は親水化を除き、ほぼ水色部分が緑道として整備していくし、市の部分でも 1.8m の幅員があり、地域の憩いの拠点としては確保できるのではないかと思う。
- ・ その他の提案部分について、地域の皆さんと、どういった整備が出来るかと考えていける。憩いの拠点としての対応は図っていけるのではないかと考えている。

登録員

- ・ ボックスカルバートのイメージ図は、将来的にどのくらいの深さに入るのか。
- ・ 仮に将来、親水化する時に、この遊歩道の部分に水路を作って、ボックスカルバートの上を通路とする形にすると、植樹の植え替えとなるのではないか。
- ・ 現況では水路がつながっているが、マンション計画でやる部分と、蓋がけする部分が急に曲がってしまうと理解してしまう。こうした部分が調整できるのか。
- ・ 親水化する時に、余計なお金がかからないように、開発業者と話が出来るのか確認したい。

関係課（河川課）

- ・ 柵渠とボックスの部分は、技術的には若干の曲げは可能。その部分での後戻りはないと考える。

登録員

- ・ 費用のかかる大きな事業のようだが、慎重に検討していただき、地域に喜ばれるものになって欲しいと思う。

登録員

- ・ 現地を知らない人や工事等を知らない専門家でない人には、大変理解しがたい。
- ・ 草加市として重要な提案を、聞いて判断するだけでなく、現地視察をするなどの対応を考えたほうが良い。事前に見るといった機会を設けて欲しい。
- ・ 専門家でない人にもより理解できるように、黒板や大きくした図面を掲示するなどの対応が欲しい。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 現地の説明については、事前に資料を渡してといった形で対応したが、今後、必要性があれば検討させていただきたい。

登録員

- ・ 現場を知らないの、ここの水路は水が流れているかも知らない。
- ・ ここに水が流れているのであれば、草加市は水と緑を大切にするという方針だし、何かをする時は自然生態系には配慮すると環境基本計画に欠かれている。
- ・ 事業を進める際に念頭に入れて考えて欲しい。

登録員

- ・ 初めて出席。
- ・ 現場の写真等があれば、こんな状況だとわかる。
- ・ 開発業者が断面図のとおりやるとなっているが、施工は決定事項なのか。開発業者が100%負担するのか。
- ・ 草加市の整備部分の断面がどうなっているのか。
- ・ 出席者がイメージできるようなものがないと何とも言えない。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 前回の会議で、提案者からパワーポイントで現況写真等の説明をしていただいた。
- ・ 登録員の方々は草加市のまちづくりに積極的な方ばかりであり、ありがたいと思っている。現況については、事前に見ていただく中で、意見等をいただければありがたいが、必要があれば、現地等を見ながら意見をいただくといった対応も考えていきたい。
- ・ 開発業者の整備内容については、業者の負担で行うとなっている。
- ・ 市の整備部分は、現況が柵渠で上が開放になっており、蓋をかけるとなっている。

登録員

- ・ そういうことが絵で書いてあれば、理解できる。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ ご意見を受けたとおり、図面など、言葉だけでなく、判りやすい回答を用意したいと考える。

登録員

- ・ 業者が水色部分をやるという話だが、この断面図は、業者が提案した断面図か。市が、市民の要望を伝えた上で、意を汲んだ図なのか。
- ・ それともそうした意見に関係なく業者が出したものか。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 図面は業者が作ったが、イメージは行政と協議しているので内容は沿っている。

登録員

- ・ 業者には整備させて、市ではなぜ出来ないか。
- ・ 業者が整備するにあたって、イメージ図だと水路は出来ない。
- ・ 遊歩道も、自然に近い水路を予測した、まっすぐでない遊歩道を考えた方がいいのでは。
- ・ 先程3分の1がなかったと言っていたが、現実的(距離的)には4分の1程度しかないのではないかと思う。
- ・ 残念なのは、暗渠化せずに自然な形での水路、との提案に対し、今後の施策の上で参考にするというだけの考えを示している。

- ・ 瀬崎の方々が、草加の原風景を図面化して、現実化したいと、高邁な理想のもとに作った計画を提案したと思うが、予算の理由で、出来ないとは非常に暗いものだと感じる。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ それなりの整備の内容となっており、緑道の対応もしている。内容的にはある程度答えていると考えている。
- ・ 業者に整備させているという話だが、業者は大規模の開発をする場合、その開発面積の3%を公園として整備する事が義務づけられており、それに代わるものとして施工する部分であり、業者に協力させているというわけではないことを理解して欲しい。
- ・ 今後の参考にという部分は、自然を生かしての整備という形で、今回の水路の部分は深さの関係で、自然な形で水路として残す整備が難しい。
- ・ 今後は、現況を残した整備も考えていきたいといった点で回答した。

登録員

- ・ 前回は、現地を見ていなかったなので、自然を保つ形で、と提案した。
- ・ しかし、現地を見た事で、深くて自然のまま整備するのが難しいという意味がはっきり分かった。
- ・ 現地を見ないで話しても、的外れの話になってしまう。
- ・ ハードの提案の場合、現地を認識したうえで意見をもらうとした方がいいのではないか。
- ・ 今回の、瀬崎の提案に対する回答では、自然な形で整備が、水路が深くて無理となったが、今後、他で同じ様な提案があった時は、生かしていきたいという意味だと、今わかった。
- ・ 文章だけだと理解できなかった。理解をするのは難しいと思った。

登録員

- ・ 前回、瀬崎の提案者からパワーポイントを使った説明を聞き、自分なりにイメージしていたが、今日話を聞いて、通学路と緑地が出来るとのこと。
- ・ それに対しての要望だが、草加市の中でも特色ある、個性のある、名所となる憩いの場となって欲しい。
- ・ 場所が広くないようだが、珍しい花を植えるなど、狭いながらも特色のある場になればと思う。
- ・ 通学路になるという話だが、安全対策、いろんな面でお願いしたい。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 特色ある緑地については、実際の整備を地域の皆さんと協議しながら進めていきたいと思う。
- ・ 安全対策については、子供たちに対する犯罪が増えているが、この場所に限ら

ず、市として力をいれて対応しているところで、ここでも考えていきたいと思う。

登録員

- ・ 親水緑道計画は、緑道計画ではなく親水にポイントがあると思う。
- ・ 将来に向けた検討事項の部分をもう一度確認したい。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 親水化については、整備費用が大きな金額となるため、現在は難しい。
- ・ ただ、この計画が、地域の皆さんを含め、地区詳細計画にも定められているので、将来的には親水部分については、検討していきたいと考えている。

登録員

- ・ 私たちの地域でも考えていて、水の管理は難しいと聞いている。
- ・ 草加のまちづくりの中で、せせらぎ、水は人を憩わせられるので、その方向に向けて考えていただきたい。
- ・ この提案者の思いは親水にあると思う。いろんな形で、草加市のまちづくりの全体にかかわることだとも思う。まち中にも堀があったりして、それをどうするなどこれからの問題もある。特に要望しておきたい。

登録員

- ・ この条例は市の最高の条例だと聞いているし、そうしなければいけないと思っている。
- ・ 1回の提案の中で、現地を見ている人、見ていない人もいる。1回の説明で理解できないは当たり前だと思う。
- ・ 貴重な税金を使って行う整備。市民の意見を聞いて、取り入れてやっていくという上では、もう一度、現地及び地域の状況等、みんなに理解してもらった上で、市の反映結果に対し意見を出してもらった方が言いと思う。
- ・ 提案を出した側としては、地域の思いも3,4年やってきて非常に強い。
- ・ この回答の説明では、地域の人たちに納得してもらえんと思えない。
- ・ 地域に納得してもらうためには、出来ればもう1回、現地での説明という機会を持ち、みんなに理解してもらった上で、同じ反映結果だとしても地域に戻したいと思っている。
- ・ 提案者の事務局としては、そうした手順を取れないかと提案したい。
- ・ それだけ、みんなでまちづくり会議は重要なもの。1回2回では済まない。時間をかけてもいいのではないかと。かける必要があるのではないかと。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 市の最高規範となっており、提案については、庁内的にも真摯に検討している。
- ・ 上手な説明であれば、登録員が理解できるかもしれない。
- ・ 現地を見ていないからわからないではなく、登録員の方々は、まちづくりに思

いをはせている方々が集まっていると思っているので、現地を見てから意見をいただければありがたいと思っている。

- ・ 必要となれば、現地を見た中で、提案の説明、回答の説明をしたいと思う。

登録員

- ・ 回答した行政の方々は、瀬崎の提案内容を理解しているのか。もっとわかりやすい絵があったほうがいい。
- ・ 今度の仕組みと、今までの仕組みはどう違うのか。はっきりして欲しい。
- ・ 地域の人が議員を連れてお願いするのと同じではないか。
- ・ 今回業者が3分の2を整備し、どうせやるなら行政も整備するなどの姿勢が必要なのではないか。
- ・ 草加市としては、水路には蓋がけをしていくのか。地域力をつけるためには現況のままでいいのではないか。
- ・ 行政からの一方的な回答はやめてもらいたい。
- ・ 開発業者が整備するのはいくら、行政が整備するのはいくら、皆さんの負担がいくら、皆さんどう考えますか、のようにやって欲しい。
- ・ 地元で半分出すからといったら行政はやるのか。行政がすべて負担する時代ではない。
- ・ 今までの役所と違う考えを持ってもらわないと、何も変わらないのでは。
- ・ この条例をどうやって運用するのか。
- ・ 現場を見ないのも悪いが、お金がないから出来ない、そんな答えをもらっても、しょうがない。

登録員

- ・ 先程から現地とっているのは、提案内容が出来ないとした場合も、現場を見ていると、ここには適さない、と理解できる事もあるから必要という意味で話をした。
- ・ 一人で行って、見られる場所とそうでない場所がある。
- ・ 一人で見ること必要だが、同時に現地を見て、提案者の説明を同じように聞き、情報を共有しないといいものは出来ない。
- ・ 他の意見を聞き、提案者もさらにいい考えを持てるようになるのではないか。
- ・ みんなの意見を寄せ集めることによって、いいアイデアが出ると思う。
- ・ 一人一人がやるのも、もちろん良いが、それでは目的達成にはならない。コミュニティが図れない。
- ・ 条例には、市政に反映する等は規定されているが、次回に提案事項について説明しなければならないという条文はない。
- ・ 前は不備であったら、今回は現地でといったように、提案者も3,4年かけてやったのだったら、会議の回答も時間をかけてもいいのではないか。

登録員

- ・ 業者がイメージ図を作っているが、瀬崎のまちづくり会議が作った計画が出来るような前提の工事にしてもらえば、将来的には二重投資にかからないと思う。
- ・ 業者に具体的な提案を出してもらうのも一案ではないか。
- ・ 住民も将来的にはこうなると納得されるのではないか。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 将来的には、今回の内容で親水化は可能である。
- ・ 回答時期についてだが、意見を調整するなかで、市の意見がまとまったので回答しているが、内容によっては時間のかかる提案もあると思う。取りまとまっていけない場合は、途中経過の報告もありえると思う。
- ・ 今回は、市として様々な視点から検討した結果の回答となっている。
- ・ 登録員の方々の現地を見て、との意見が多かったので、今回の回答はこういう結果だが、現地で確認するという事も可能だと思う。

登録員

- ・ もう一度マンションの施行業者も含め、現地を見て検討として欲しい。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ マンション開発部分については開発許可の条件となっているので、整備内容は間違いなく施行できる。
- ・ ボックスカルバート、覆土、緑道は開発の条件になっているので整備していく。
- ・ 緑道の詳細部分については、議論していきながら整備していく事になっている。

登録員

- ・ 公園について、皆さんの意見を反映できればと思う。
- ・ 緑道の木などはマンション業者任せ、では納得いかない。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 木の種類や配置などの詳細については、これから議論したうえで決定していくといった意味だとご理解いただきたい。

登録員

- ・ 行政が今日の反映結果をまとめるにあたって、何回も協議し、決定してやっと出来た、と理解できる。
- ・ でも、まちづくりをしていくのは、行政内部のこともあるが、地域の考えだとか、想いだとかを、まちづくり会議の登録員が理解して、みんなが納得した上で進めていくのが大前提だと思う。
- ・ 行政内部で苦労しているのはわかるが、この反映結果が変わりませんではなく、もう一度、現場で、意見を交わさないと、これがまちづくりの手法なのだろうか、会議に提案した者勝ちだとなってしまうかわないか、危惧している。
- ・ 今日はこういう結果で反映結果をもらったが、もう一度現場で提案をさせても

らって、その中で反映結果を検討してもらいたい。

登録員

- ・ 両者が同じ土俵に乗っていないから議論にならない。市と地元でわいわいやりあっても意味がない。
- ・ 我々も、より良いものを作るために集まっているが、お互いを理解していない。
- ・ パートナーシップではなく対立軸になっている。早く同じ土俵に乗って欲しい。
- ・ どうしてオレンジ色のような結果になってしまったか、それを提案者に言ってもいいではないか。
一度整備をしたら、次はなかなか来ない。
- ・ 1年待ったらこうなるとか、親水はあきらめるが緑道なら出来るなど、そうした話をしないとパートナーシップではない。
- ・ これだけの事を市民はした。今までの議員を使ってとは違う。
- ・ これでは、登録員制度を作った意味がない。そういう意味で、みなさんにも頑張ってもらいたい。
- ・ みんなプロではない。ほんとに好きな人が見にいけばいい。
- ・ オブザーバーとして話を聞きに来ればいい。
- ・ 草加市としては、こういう原則で動いている、というのが見えない。

登録員

- ・ 水路が深くでのり面をたくさん取らなくてはならないと言ったが、2段式にしてやっているところがある。
- ・ 水路に蓋をかぶせて、土を被せ、さらに水路をつくる。それを提案したい。

登録員

- ・ 施工業者が整備する水色の部分には、親水は入れられないのか。業者がこれだけやるのが決定事項なのか。
- ・ 業者には提案内容を渡したのか。
- ・ 始点から終点まで、ボックスカルバートを全部入れて、下を整備してしまえば、後で市が上の整備を出来るのではないか。下の整備をすべてやるといった提案を、業者にしたのか。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 親水化まで含めて、業者に負担させる事は難しい。理解して欲しい。
- ・ 交渉内容は、そうした話をしたかは確認していないが、業者との協議は適正に行われた。
- ・ 全部やるということについては、業者の理解が得られなかった。

登録員

- ・ 次回現地に行って、やるやらないを決めた方がいいのでは。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 現地を見ながら提案を聞くという登録員は挙手をお願いします。

《 11 / 12 登録員挙手》

- ・ 次回、現地で提案内容を説明、委員の意見を聞く会議を開きます。

登録員

- ・ 開発許可は終わっているのか。整備の130mは決まっているのか。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 開発許可は基本的には終わっている。130mの距離も決まっている。

(3)その他「会議開催時間アンケートの結果報告」

- ・ 昨年の会議を考える会で、開催時間のアンケートを取ることが決まり、年末に通知した。
- ・ 結果は、資料2 のとおり平日の夜、午後となっている。
- ・ この結果に基づき今後の会議を設定する。
- ・ 現地での会議は、平日の午後になると思う。

その他「蒲原公園再生計画についての報告」

- ・ 3月議会で18年度の予算が確定するので決定ではないが、18年度からの3カ年で整備すると、瀬崎まちづくり市民会議に報告した。
- ・ 来年度予算に反映していこうと行政で努力している。3月議会後に改めてご報告させていただく。

以上

署名登録員

署名登録員